

青森県 五所川原市

立俵武多

高さ23メートル重さ19トンの威容が奥津軽を練り歩く。

五所川原立俵武多 2022 公式ガイド

8/4 木 8月

午後 7 時 ~ 立俵武多・ねぶた合同運行

第 71 回 五所川原花火大会 8月3日㊤ 午後7時30分~9時 ※荒天延期 8月9日㊤



祭り運行
YouTube
毎日生配信

8月4日はYouTuber「にゃんこーひー」出演!



けいこしょうこん
じんむてんのう
きん とび
え
稽古照今・神武天皇、金の鴉を得る

二〇一八年製作
制作者／福士裕朗



かぐや

二〇一九年製作
制作者／齊藤忠大



暫
しばるく

二〇二二年製作
制作者／鶴谷昭法

神武天皇が日向高千穂から東征の途中、ナガスネヒコとの戦いで苦戦していたところ、金鶏が天皇の弓の上端に飛来し、金色のまばゆい光を發して敵兵の目をくらませ勝利をもたらしたという伝説がある。
神武天皇はその後、大和を平定し、「橿原」で初代天皇として即位したとされる。
本作は、金鶏を得た神武天皇の勇姿を現したものである。
この立俵武多を、古を見つめ直し、それを今に伝え、活かしながら初心に返り、再び新しい時代に向かって共にこの現代を生き抜いていこうという象徴とした。

「竹取の翁」「竹取物語」など様々な呼び名で言い伝えられている「かぐや姫」。今から千年以上も前の平安時代に書かれた日本最古の物語であると言われても成立年、作者共に未詳。
作中「家の中には暗い場が無く光に満ちあふれ」「心が悪く苦しい時この子を見れば消えた」と記されている。
日本最初の物語にあやかり、このネプタが新たな立俵武多物語を紡ぎ、光に満ち溢れる五所川原が創造されるよう祈願し制作。

歌舞伎十八番の一つに数えられる演目「暫」。
横暴な公卿の清原武衡が、自らに反対する善良な加茂次郎義綱を捕え、処刑しようとしたその時、鎌倉権五郎影政が、「しばらく〜」の一声で現れ、超人的な活躍で助け出し、公卿とその家来たちの悪事を暴き大見得を切る場面。
江戸時代の初代市川團十郎以来、代々演じられてきた「荒事」を表現した。

立俵武多・ねぶた出陣日程

※運行順ではありません。出陣内容が変更になる場合もございます。

	4日㊤	5日㊤	6日㊤	7日㊤	8日㊤
誠和會	○		○		○
富士電機津軽セミコンダクタ(株)	○				○
蘭喜會	○	○	○	○	○
三振り會	○	○	○	○	○
立俵武多運行団体協議会	○	○	○	○	○
五所川原高等学校	○	○			○
五所川原農林高等学校	○	○		○	○
親子 de 立俵武多		○	○	○	○
大型立俵武多「 暫 」	○	○	○	○	○
大型立俵武多「かぐや」	○	○		○	○
大型立俵武多「神武天皇」	○	○	○		○

市内の子どもたちが親子で参加！
立俵武多の魅力と祭りの楽しさを体感

桃太郎電鉄
制作者／齊藤忠大



高さ約8m

金太郎
制作者／鶴谷昭法



高さ約10m

主催／五所川原立俵武多運営委員会

五所川原商工会議所 TEL 0173-35-2121
(一社)五所川原市観光協会 TEL 0173-38-1515

立俵武多公式サイト



2022年 出陣 大型立俵武多 高さ約23m 重さ約19t

